

＜緩和ケア部会：平成23年度事業計画の実績報告と評価＞

1. 年3回以上、緩和ケア研修会企画、実施の調整をする。

実績：今年度は支援病院の北部地区医師会も参加して年4回開催された。

主 催	日 程
琉球大学病院	第1回 2011年 8月7日(日)、8月28日(日)
北部地区医師会病院	第2回 2011年 9月4日(日)、9月11日(日)
那覇市立病院	第3回 2011年10月16日(日)、10月23日(日)
沖縄県立中部病院	第4回 2011年11月27日(日)、12月4日(日)

予算：1,753,600 琉大予算額：438,400 琉大執行額：409,425

評価：10点

次年度：継続して行う。

2. 緩和ケアフォローアップ研修会を開催する。

実績：モジュールのニーズを調査するため、アンケートを実施した。

予算：320,000 琉大予算額：320,000 琉大執行額：0

評価：2点

次年度：継続して研修を行う。

4. 緩和ケアの現状調査を行い、ホスピス病棟を持つ病院・在宅医療との連携を強化する。

① 「緩和ケア情報シート」の評価と現状調査をおこなう。

実績：1月に今年度の調査と評価を実施する。

予算：100,000 琉大予算額：100,000 琉大執行額：0

評価：10点(仮)

次年度：「緩和ケア情報シート」の分析

② がん診療に携わる医師の「緩和ケア研修会」修了者数・未受講者数実態調査
 県の協力を仰いで、各拠点病院、支援病院、その他がん診療を行っている県内主要病院・
 施設を対象に、研修会受講者数と未受講者数を調査する

実績：実施済

予算：48,000 琉大予算額：48,000 琉大執行額：48,000

評価：10点

③ 疼痛除去率の調査

各拠点病院、支援病院、その他がん診療をおこなう主要病院・施設の入院患者を対象とした
 調査を実施予定。

実績：拠点病院、南部病院、豊見城中央病院で実施済

予算：500,000 琉大予算額：500,000 琉大執行額：0

評価：7点

次年度：平成24年度末までに調査方法の構築を計る。

- ④ 「緩和ケア」に関する情報の収集、整備を強化し、沖縄県がん診療連携協議会ホームページなどを情報提供の場としてより活用していく。部会メーリングリスト等を利用して、各所からのイベントや講演会の情報をタイムリーに収集する。

実績：部会メーリングリストでの研修会、講習会等の情報交換が少ない為、より活発な情報交換が必要

予算：なし 琉大予算額：なし 琉大執行額：なし

評価：8点

次年度：継続して行う。

5. 緩和ケア認識の普及

- ① 本島及び離島で講演会等を開催する。

実績：J P A P 勉強会、ホスピス緩和ケアフォーラム i n 沖縄、看取りの勉強会を行った。

予算：368,000 琉大予算額：248,400 琉大執行額：35,160

評価：9点

次年度：継続して行う。

- ② 「緩和ケアパンフレット」の作成をする。

実績：作成し配布済

予算：49,700 琉大予算額：49,700 琉大執行額：0

評価：10点

次年度：がん診療を行っている機関へ配布を行う。

平成 23 年度第 5 回沖縄県がん診療連携協議会・緩和ケア部会議事要旨

[日時]平成 23 年 11 月 8 日（火） 19:30～21:30

[場所] 琉球大学医学部附属病院 管理棟 2 階・小会議室

[参加者] 8 名：伊藤昌徳（ハートライフ病院）、喜納美津男（きなクリニック）、宮川真一（沖縄県立南部医療センター・こども医療センター）、笹良剛史（南部病院）、上田真（沖縄県立中部病院）、栗山登至（琉大病院）、棚原陽子（琉大病院）、増田昌人（琉大病院）

[欠席者] 11 名：上原弘美（患者）、島袋恭子（敬愛会中頭病院）、福地泉（アドベントストリートセンター）、安次富睦子（沖縄県介護支援専門委員協会）、上間一（オリブ山病院）、大湾勤子（国立病院機構沖縄病院）、垣花真紀子（沖縄県立宮古病院）、今村昌幹（沖縄県立八重山病院）、友利健彦（北部地区医師会病院）、足立源樹（那覇市立病院）、中村清哉（琉大病院）

[陪席者] 1 名：松澤智子（琉大病院）

<報告事項>

1. 「平成 23 年度第 4 回沖縄県がん診療連携協議会・緩和ケア部会」議事要旨について
栗山委員より、平成 23 年度第 4 回沖縄県がん診療連携協議会・緩和ケア部会議事要旨が承認された。
2. 「第 1 回がんピアサポーター養成基礎講座」について
増田委員より、資料 2 にもとづいて、「第 1 回がんピアサポーター養成基礎講座」について報告があった。養成したサポーターを支えるシステムが必要であることや、問題等が起きた場合に同部会でサポートして解決策を考える場にしていきたいとの提案があった。
3. 「第 4 回沖縄県緩和ケア研修会 2011」開催日程について
栗山委員より、資料 3 にもとづき、今後開催予定の「緩和ケア研修会」日程が報告された。次回は県立中部病院にて 11 月 27 日と 12 月 4 日に開催される予定。受講者受付中。豊見城中央病院（5 階会議室）でも、平成 24 年 2 月 5 日（日）・2 月 12 日（日）に同研修会が開催されるとの報告があり、協議会ホームページに掲載することが承認された。
4. 「ホスピス・緩和ケアフォーラム」について
栗山委員より、資料 4 に基づき、財団法人 日本ホスピス・緩和ケア研究振興財団からの委託事業、「ホスピス・緩和ケアフォーラム」について、最終的な講師とシンポジストが決定したとの報告があった。シンポジウムのテーマがまだ決定していない為、早急に調整し広告用チラシを作成、発注する必要があるとの指摘があった。フォーラムの司会は栗山委員に決定した。チラシに開場時

間（12：00）を追加することが承認された。新聞に広告を出すことおよび、NHKにも後援依頼を出すことが承認された。

5. J P A P主催「がん性疼痛に関する講演会」について

栗山委員より、資料6に基づき、J P A P主催「がん性疼痛に関する講演会」について、参加者を多く募る対策が必要との話し合いがもたれた。メディアへの取材依頼や広告掲載が必要。増田委員より、琉大病院・麻酔科長に協力依頼をすることが承認された。

6. 次回部会日程について

次回部会は1月10日（火）19：00～から開催予定。

7. その他

・栗山委員より、11月9日に「看取りの講演会」を開催したとの報告があった。また、患者家族からも後援依頼があるとの報告があった。

<協議事項>

1. 疼痛除去率調査について

笹良部会長より、疼痛除去率調査について、資料6に基づき、10月に行われた調査の結果報告があった。この調査をどう生かして、広げていくかが今後の課題。棚原委員が主導して同調査についてのアンケートをナース対象におこない考察を公開していくとの提案があった。それをもとに、来年度は調査を広げていく。年度内に県内でがん診療を行っている主要施設に調査依頼を出し、賛同を得られた施設から順に同調査を開始する為に、説明会をおこない準備を進めていく事が承認された。

2. 緩和ケアパンフレットについて

栗山委員より、資料に基づき、緩和ケアパンフレットについて、サンプルが仕上がったとの報告があり、委員によって内容が検討された。後日、再度調整したデザインのデータをPDF化し、各委員にメーリングリスト上で送付することが承認され、各施設で印刷を打ち出し使用することになった。

平成 23 年度第 6 回沖縄県がん診療連携協議会・緩和ケア部会議事要旨

[日時]平成 24 年 1 月 10 日 (火) 19:10~21:00

[場所] 琉球大学医学部附属病院 管理棟 2 階・小会議室

[参加者] 10 名: 伊藤昌徳 (ハートライフ病院)、笹良剛史 (南部病院)、栗山登至 (琉大病院)、棚原陽子 (琉大病院)、増田昌人 (琉大病院)、上原弘美 (患者)、島袋恭子 (那覇市立病院)、福地泉 (アドベンチアメディカルセンター)、上間一 (オリブ山病院)、今村昌幹 (沖縄県立八重山病院)、

[欠席者] 9 名: 安次富睦子 (沖縄県介護支援専門委員協会)、大湾勤子 (国立病院機構沖縄病院)、垣花真紀子 (沖縄県立宮古病院)、友利健彦 (北部地区医師会病院)、足立源樹 (那覇市立病院)、中村清哉 (琉大病院) 喜納美津男 (きなクリニック)、宮川真一 (沖縄県立南部医療センター・こども医療センター) 上田真 (沖縄県立中部病院)、

[陪席者] 3 名: 松澤智子、安里千恵美、(琉大病院) 屋良尚美 (沖縄県立中部病院)

<報告事項>

1. 「平成 23 年度第 5 回沖縄県がん診療連携協議会・緩和ケア部会」議事要旨について

伊藤副部長より、平成 23 年度第 4 回沖縄県がん診療連携協議会・緩和ケア部会議事要旨が承認された。

2. 「第 1 回がんピアサポーター養成基礎講座」について

伊藤副部長より、資料 2 に基づき「第 1 回がんピアサポーター養成基礎講座」について実施済みの報告があった。日程は 11 月 6 日 (日)・11 月 20 日 (日)・12 月 4 日 (日) 3 日間で行われ参加者には自営業や無職の方も入っており、全日程修了者は 8 人であった。上原委員より当初の申込者 11 人に対し 8 人が参加され、修了者には地域統括相談支援センターより修了証を発行した。初日は参加者・スタッフ共に戸惑う所もあったが、2 日目・3 日目は和気あいあいとした雰囲気意見・発見が多く出て、受講生の満足度も高く、次回もこういう機会があれば参加したいとの声が聞かれた。今後の予定としては第 2 回がんピアサポーター養成基礎講座を 1 月 22 日に開催し、3 月 4 日にフォローアップ研修会 (がんピアサポーター養成基礎講座修了者対象) を予定していると報告があった。

3. 「第 4 回沖縄県緩和ケア研修会 2011」について

伊藤副部長より、資料 3 に基づき沖縄県立中部病院で行われた「第 4 回沖縄県緩和ケア研修会 2011」が開催された報告があった。11 月 27 日・12 月 4 日の 2 日間で行われ、参加予定人数 34 人に対し、修了者人数は 31 人であった。

4. 「ハートライフ病院主催・緩和ケア研修会開催」について
伊藤副部長より、ハートライフ病院主催で5月末又は6月に緩和ケア研修会を行う予定と報告があった。
5. 「ホスピス緩和ケアフォーラム in 沖縄」について
伊藤副部長より資料4に基づき、1月8日(日)に沖縄都ホテルで「ホスピス緩和ケアフォーラム in 沖縄」が開催され、約300名の参加者があったと報告があった。玄侑宗久師の特別講演後、シンポジウムが行われ質疑応答では活発な意見交換が行われた。
6. J P A P 主催「がん性疼痛に関する講演会」について
伊藤副部長より、資料5に基づき平成23年12月16日にJ P A P 主催「がん性疼痛に関する講演会」が開催され、49名の参加者があったと報告があった。
7. 緩和ケアパンフレットについて
伊藤副部長より、資料6に基づき緩和ケアパンフレットが完成し各病院へデータが送付され運用開始していると報告があった。引き続き、表現等に関して指摘等がある場合にはがんセンター事務局にて訂正を行う。
8. 次回部会日程について
次回部会は3月13日(火)19:00～から開催予定。

<協議事項>

1. 疼痛除去率調査について
部会事務局より、先月の12月28日に拠点病院及び県内88カ所のがん診療を行っている施設へ「沖縄県がん疼痛緩和に関する調査協力について(依頼)」文書を送付した報告があった。今後、参加施設には笹良部会長が出向き、調査方法の説明を行い順次調査を開始する。浦添総合病院では、調査開始にあたり、倫理委員会にかける為、笹良部会長が出席し説明を行う。
2. 今年度事業評価と次年度事業計画作成について
資料7に基づき下記の通り今年度の事業評価をい、次年度事業計画を別紙にまとめた。

- | |
|--|
| <ol style="list-style-type: none">1. 年3回以上、緩和ケア研修会企画、実施の調整をする
→評価点：10点 今年度は支援病院の北部地区医師会も参加して4回開催された。2. 緩和ケアフォローアップ研修会を開催する
→評価点：2点 モジュールのニーズを調査するため、アンケートを実施した。3. 緩和ケアの現状調査を行い、ホスピス病棟を持つ病院・在宅医療との連携を強化する。
① 「緩和ケア情報シート」の評価と現状調査をおこなう。
→評価点：10点(仮) 1月に今年度の調査と評価を実施する。 |
|--|

- ② がん診療に携わる医師の「緩和ケア研修会」修了者数・未受講者数実態調査
県の協力を仰いで、各拠点病院、支援病院、その他がん診療を行っている県内主要病院・施設を対象に、研修会受講者数と未受講者数を調査する
→評価点：10点 実施済。
- ③ 疼痛除去率の調査
各拠点病院、支援病院、その他がん診療をおこなう主要病院・施設の入院患者を対象とした調査を実施予定。
→評価点：7点 拠点病院、南部病院、豊見城中央病院で実施済。
- ④ 「緩和ケア」に関する情報の収集、整備を強化し、沖縄県がん診療連携協議会ホームページなどを情報提供の場としてより活用していく。部会メーリングリスト等を利用して、各所からのイベントや講演会の情報をタイムリーに収集する。
→評価点：8点 部会メーリングリストでの研修会、講習会等の情報交換が少ないため、より活発な情報交換が必要。

4. 緩和ケア認識の普及

- ① 本島および離島で講演会等を開催する
→評価点：9点 JPAP勉強会、ホスピス緩和ケアフォーラム in 沖縄、看取りの勉強会を行った。
- ② 「緩和ケアパンフレット」の作成をする
→評価点：10点 作成し配布実施済み。

3. 次年度緩和ケア部会開催日程について

これまでの隔月開催から定例を年4回、必要に応じて臨時開催を実施する事が承認された。